

# 学校基本情報

2025年5月1日時点

学校・校長名	設置認可年月日	所在地
新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 学校長 中川 洋一	昭和51年10月12日	〒 222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2丁目5-8 電話番号 045-472-5101

設置者・代表者名	設立認可年月日	所在地
学校法人 共生学園 理事長 浅野 倉栄	昭和56年4月10日	〒 222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2丁目5-8 電話番号 045-472-5101

分野	認定課程名	認定学科名	専門士告示年月日
医療	医療専門課程	歯科衛生士科	令和3年2月24日

学科の目的	歯科医療の一端を担う歯科衛生士として、必要な専門知識及びその応用を教育すると同時に、社会のために役立つ歯科衛生士を養成することを目的としている。
-------	--

修業年限	3年	昼間・夜間の区別	昼間
------	----	----------	----

学生情報 令和7年度 5月1日 現在	学年別	入学年月	定員	学級数	応募者数		受験者数		合格者数		入学者数	
					一般	推薦	一般	推薦	一般	推薦	一般	推薦
	1年	2025年4月	40	1	17	61	15	61	5	43	5	43
	2年	2024年4月	40	1	18	52	11	52	6	39	5	38
	3年	2023年4月	40	1	11	65	7	65	4	44	4	44
	計		120	3	46	178	33	178	15	126	14	125

学生情報 令和7年度 5月1日 現在	学年別	増加			減少				在学者数				
		留年者	転入者	計	留年者	転出者	退学者		計	男子 学生数	女子 学生数	休学者	
							一般	推薦					
	1年	0	0	0	0	0	0	0	0	48	0	48	0
	2年	0	0	0	0	0	0	2	2	41	0	41	0
3年	1	0	1	0	0	0	3	3	46	1	45	0	
	計	1	0	1	0	0	5	5	135	1	134	0	

2024年度の 学生情報	卒業者 数 (人)	39	国家試験 受験者数 (人)	39	国家試験 合格者数 (人)	39
-----------------	-----------------	----	---------------------	----	---------------------	----

2023年度国家試験合格者の 就職状況 (人)	病院	0	診療所	0	歯科診療所	38	歯科技工所	0
	保健所	0	歯科衛生士 学校養成所	1	歯科技工士 学校養成所	0	その他	0
	未就職	0	不明	0				

成績評価	◆成績表：有 ◆成績評価の基準・方法 ・各科目2/3以上の出席日数を満たした者に試験資格が与えられる。 ・試験結果を各科目100満点とし、 A(80~100点)・B(70~79点)・ C(60~69点)・D(0~59点)で評価し、 A~Cを合格とする。	卒業・進級条件	進級：所定の科目を履修し、教務委員会の議を経て進級となる。 卒業：全教育課程を履修し卒業試験を合格した者へ校長が認定する。
------	--	---------	--

授業料等(円)	入学金	授業料(年額)		
	1年生 150,000	1年生 588,000	2年生 540,000	3年生 540,000
	納付金	1年	2年	3年
その他 納付金 (円) ※令和7年度	実習費	180,000	180,000	120,000
	教材費	405,900	144,010	251,070

臨地実習施設数(施設)	臨地実習施設	20	臨地実習施設以外の実習施設	7	合計	27
-------------	--------	----	---------------	---	----	----

経済的支援 ◆専門実践教育訓練給付： 給付対象(令和6年度) ◆高等教育修学支援新制度：対象校(令和6年度)

学期制度	前期	4月1日~9月30日	開始・終了時刻	月~金	9:00 AM ~ 4:10 PM
	後期	10月1日~翌年3月31日		1 授業あたり	45 分授業

長期休業日	夏季	8月5日 ~ 8月30日	冬季	12月23日 ~ 1月3日
-------	----	--------------	----	---------------

## ・長期欠席者及び成績不良者等に対する支援取組

講義に関して	担当講師が欠席した講義、及び理解不十分だったところの説明・指導を行う。
基礎実習に関して	補講日程を作り、専任教員によるマンツーマンの補講を行う。
臨床実習に関して	医院の評価を学生に伝えながらの個別面談を行い、欠席に関しては予備日程に補講を行う。
長期欠席者に対して	欠席理由を考慮しながら、夏休み・冬休みなどの長期の休み期間を利用し、補講などを行う。